

NO.	質問内容	回答内容
Q1	<p>塩ビ管接着剤について 【持参工具等一覧表（参考）に関する注意事項（6）】に【HTVP用（無色透明）】 【持参工具等一覧表（参考）】に【HIVP（無色透明）】と記載されているが、「HIVP（無色透明）」でよろしいですか？</p>	<p>指摘の通りです。 注意事項（6）の文中を「HIVP」に修正します。</p>
Q2	<p>競技実施要領2.（1）の排水について 【・・・公表課題以外の管材（管種）は変更しないが・・・】 【・・・排水は40A～75Aに対応できるように・・・】 と記載されているが、排水管種及び接合方法は何ですか？ 「質問の意図・理由」準備する工具等が排水管種及び接合方法によって異なるため</p>	<p>「排水は40A～」の記載について、グランプリ競技課題に排水管はないため、実施要領2.（1）の文中から「排水」に関する文言を削除します。</p>
Q3	<p>パイプカッター（銅管用）で配管用炭素鋼鋼管（白）を切断してよろしいでしょうか？</p>	<p>取扱説明書等で用途が認められている工具は使用可能です</p>
Q4	<p>高さも同じなのにサドルバンド13個に対して、台座14個と記載されているのはなぜでしょうか。</p>	<p>正しい台座の個数は13個です。 材料表を修正します。</p>
Q5	<p>競技の作業保護具について、作業内容により手袋の使用の有無、手袋の種類の使い分けにより減点の対象になりますか？</p>	<p>作業内容に応じて適切な保護具を着用してください。安全事項に反する着用状況が確認された場合は、減点の対象となります。</p>
Q6	<p>採点要領について、寸法の精度に対する減点は、何ミリのズレで何点減点などの基準はありますか？</p>	<p>寸法精度の減点基準（何mmで何点減点など）の詳細は公表していません。 規定寸法に基づき採点要領に従って評価します。</p>
Q7	<p>採点要領について、標準時間を過ぎた場合の減点は、時間オーバーで一律減点？か、何秒ごとに点数が減点加算されていくのでしょうか？</p>	<p>標準時間から打切り時間までの超過時間に対して算定します。具体的な減点基準の詳細は公表していません。</p>
Q8	<p>採点要領について、合板への墨出しにおいて、配管の墨が最終的の有無は減点の対象になりますか？</p>	<p>墨出し用の墨の有無は減点対象外です。</p>
Q9	<p>工具棚について、課題で使用する管サイズとは全く違う管サイズのパイプの工具置きとしての使用は、認められますか？</p>	<p>明らかに競技材料、治工具として使用できない物についても使用を認めますが、工具展開後に使用不可の工具等について競技委員により指摘され改善しない場合は減点の対象となります。</p>